

待降節第2週 主日礼拝

2018年12月9日 第一礼拝(午前8:00～) 第二礼拝(午前10:30～) 夕拝(午後7:30～)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『雅歌』2章16-17節	司	会者
※開会の賛美	新聖歌22「御神の愛をば」	—	同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—	同
代表祈禱	……………	司	会者
感謝の賛美	新聖歌68「久しく待ちにし」	—	同
聖書朗読	『ルツ記』3章1-18節(旧約461頁)	司	会者
黙想	……………	—	同
メッセージ	「イエスの懐に飛び込むならば」	近	伸之牧師
※応答の賛美	新聖歌330「さいわうす 幸い薄く見ゆる日に」	—	同
感謝の献金	(新聖歌58)	—	同
感謝祈禱	……………	小山	千春姉
諸案内	(来信・集会案内)	司	会者
諸報告	(来会者紹介・報告・暗唱聖句)	近	伸之牧師
※頌栄の賛美	新聖歌62「天つみ民も」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り	……………	近	伸之牧師
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)

第一礼拝	司会：近 伸之牧師 説教	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
司集	会：伊東 一馬兄 会：笹川 清子姉 長谷川睦子姉	映像・音響：片山 健司兄 説教の録画：近 伸之牧師	C S 担当：片山 初子姉 ※掃除当番は右表参照

説教メモ

1. 人生に偶然はない。すべての人に神が備えた計画がある。ナオミはその妙を自らの悲喜を通し経験する。
2. この書には「モアブ人の女ルツ」という言葉が11回も出てくる。ルツにとってモアブ人の血は超えられない壁だった。しかしボアズの足元にひれ伏し、衣に覆われたとき、彼女は自らをボアズのはしためと告白した。
3. 他人の言葉や態度に基づく、悪しき自己評価で苦しむことがある。しかしイエスの懐に飛び込むならば、自ら付けた「レッテル」から解放される。そして「私は主のもの、主は私のもの」という、新しい生き方が始まる。

今週の暗唱聖句

「主よ あなたは私を探り 知っておられます」(『詩篇』139篇1節)

[敬和学園高校の生徒用] 牧師のサイン ()

個人、団体からの来信

2018年12月9日

2019新潟「信教の自由」講演会の案内[新年2月10日(日)午後4時より新潟福音教会にて]/北陸地区KGK

先週の集会出席者数

12/2(日)	教会学校	幼児男子- 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児計- 成人男性- 幼児女子2 小学女子1 中学女子- 高校女子- 女児計3 成人女性2		
	第一礼拝	男4 女3	※月に一回、書道教室を開催	
	聖餐礼拝(子ども)	男12 女17 男児2 女児5	12/3(月) 月曜家庭集会 (休会) 12/5(水) ネヘミヤ祈禱会	男5 女5
	夕拝	男1 女1	12/7(金) シャベリ場夕ビタ	男- 女4
			12/7(金) 金曜祈禱会	男- 女4

諸集会のご案内

書道教室	12/10(月)午前9:30		書の指導：藤田 美保姉
月曜家庭集会	12/10(月)午後8:00	山崎岩雄兄宅	
新潟山形僚禱会	12/12(水)午後7:30	「祈りのネットワーク」ご持参ください	司会：片山 初子姉
シャベリ場夕ビタ	12/14(金)午後1:30	渡邊智子姉宅	問合せ先：渡邊 智子姉
金曜祈禱会	12/14(金)夜	教会堂	

12/16(日) 待降節第3週

第一礼拝 午前8:00	司会：近 伸之牧師 説教	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
教会学校 午前9:00	担当：(調整中)		
第二礼拝 午前10:30	司会：片山 勝三兄 集会：長谷川睦子姉 横堀 信子姉	映像・音響：片山 浩司兄 説教の録画：近 伸之牧師	感謝祈禱：笹川 清子姉 ※掃除当番は下表参照
教会学校奉仕	12/2[佐藤兄] 12/9[片山姉] 12/16[調整中] 12/23[特別礼拝に合流] 12/30 [近牧師]		
掃除当番順	12/2[猪爪姉] 12/9[初子姉] 12/16[小林姉] 12/23[小山姉] 12/30[笹川姉]		
主日の予定	カナン訪問	午後2:00～	進行：横堀 信子姉
夕拝 午後7:30	司会：近 伸之牧師 説教	礼拝箇所 『ルツ記』4章1-22節	

報告

1. 本日の予定
礼拝の恵みを感謝いたします。待降節第二週です。キリストの再臨を待ち望みつつ歩いていきましょう。礼拝後はグループごとの分かち合いを持ち、その後昼食をいただきます。午後はミーティングの他、クリスマス劇やハンドベルの練習を行います。どうぞご協力をお願いします。
2. 子どもクリスマス会の案内
今週、15(土)午前10:00から11:30まで、当教会で子どもクリスマス会を行います。内容の詳細はチラシをご覧ください。今朝、近隣1300世帯に折込チラシをしました。子どもたちや親御さんの目に触れて参加へと導かれるようお祈りください。また当日に参加協力できる方は、片山初子姉へお問い合わせください。
- 3.

「人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです」(ルカ19・10)

「人の子」とはイエス・キリストのことを指しています。この言葉を語られたのは、ザアカイという人の回心があった時でした。(どうぞ聖書のこの箇所をお開きください)

ザアカイという名前は「正しい」という意味です。それは親の願いであったでしょうが、本人もその名のようにでありたいと願っていたことでしょう。それなのに、人々からは「罪人」というレッテルを貼られるまでに成り下がってしまったのです。

彼はいわゆる落ちこぼれだったのです。ですから彼には友人らしいものもなく、当時としては最も忌み嫌われていた取税人ということもあり、まわりから疎外されている孤独な存在であったようで、イエスをひと目見たいという彼の願いに、群衆のだれひとり協力してくれなかった様子にもそれがうかがえます。それにわざわざ「背が低かった」と聖書に記されていることから、彼を劣等感に陥れた原因とも考えられ、それがなりふり構わず金さえあればの生き方に向かわせたのかもしれない。彼は「失われた人」でした。

主イエスが、人のかたちをとってこの世に來られたのは、ザアカイのように、落ちこぼれて孤独に悩み、どうせ俺はダメだとひがんで

でしまっているような「失われた者」を尋ね出して救うためだったのです。ですからたくさんの方々の群衆の中から、一番ダメだと思われ、自分でもそう思っていたその人ザアカイに目をとめて、「罪人の家」と言われている彼の家の客となろうとされたのです。イエス様だけが、この罪人と言われたザアカイの悲しみと淋しさと辛さとをわかってくださっていたのです。ひと言も責めもなさらず、そのままの彼を受け入れてくださったのです。

こんな者にも目をとめて見いだして下さった方がいる、こんな者をもそのまま受け入れて下さった方がいる、と知ったザアカイは、すっかり人が変わりました。イエス様に言われたわけではないのに、自分から「不正に取り立てたもの」に対して四倍にして返す、と悔い改めの実を示し、これも言われたわけではないのに、「自分の財産の半分を貧民に施します」と誓ったように、自分の懐を肥やすことしか考えていなかった彼の心に愛が芽生え始めてきたことがわかるではありませんか。イエス様は、そのように、失われていたザアカイを尋ね出し、見事に彼を回復されたのです。

あなたも、自分を失われたもの、世に捨てられてしまった者だ、などと感じておられないでしょうか。イエス様は、そのあなたを救い、回復して下さいます。



いくたび病みいくたび癒えき実千両
石田波郷

「千両」は夏、枝先に黄緑色の小花が群がり咲いたものが、冬に入ると小球果として赤熟する。緑の葉との対照が鮮やかなので、鉢植えや生け花の材料として好まれる。石田波郷(1913~1969)は生涯の大半を闘病と手術で過ごした。小さな千両の赤い実に、今日も生きられる恵みという「有り難き」をしみじみ感じたのだろう。



ライフライン

毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中
☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



12/15(土)イスラエルシリーズ
「イエス・キリストの生涯をたどる旅・2」

11月からシリーズでお届けしている「イエス・キリストの生涯をたどる旅」の2回目。このシリーズでは、福音歌手の森祐理さんが聖書の記述をたどりながらイエス・キリストが実際に生まれ育ち、活動したイスラエルの町々を紹介していきます。今回は、イエス・キリスト誕生の地・ベツレヘムの町を訪ね、クリスマスがなぜ世界中で祝われるようになったのかを紹介します。

Broadcast for Expanding
Gospel into Niigata

豊栄キリスト教会は、ライフラインを祈りと献金で支援しています。

2018年度教会目標 「弟子の覚悟をもって」

「自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしの弟子になることはできません」

(『ルカの福音書』14章27節)

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会(牧師 近 伸之)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://www.toyosakakyokai.sblo.jp>

